貸与奨学金

奨 学 金 継 続 願

（大学学部・短期大学・高等専門学校・専修学校）

独立行政法人
日本学生支援機構理事長 殿

年　月　日

下記のとおり奨学金の継続貸与をお願いします。

学校名	大　学 高等専門学校 専修学校（専門課程）	学部 科	学　科	年
奨　学　生　番　号	フリガナ 氏　名	（学籍番号：　　）		印

本人記入

返還の義務

奨学金制度は、意欲と能力のある皆さんが経済的に自立し、自らの意思と責任により学生生活を送れるよう支援するものです。
また、貸与された奨学金は返還する義務があります。先輩奨学生の返還金が、直ちに後輩奨学生の奨学金として循環運用される仕組みとなっており、返還金が確実に返還されないと、次代の奨学生の採用に重大な支障をきたすことになります。
奨学生ひとりひとりがこのような制度の仕組みを理解し、責任を持って返還をすることが重要です。

あなたは返還の義務を自覚していますか
ア．はい　　イ．いいえ

学業不振の場合の処置

以下のいずれかに該当する場合は、奨学金の交付について「廃止」（又は「停止」）の処置がとられます。
・卒業延期が確定した（又は卒業延期の可能性が極めて高い）場合
・当年度の修得単位(科目)数が皆無の（又は極めて少ない）場合

あなたは学業不振の場合の処置について理解していますか
ア．はい　　イ．いいえ

経済状況

1. 学生生活費の状況など、経済状況は奨学金申込時または前回の継続願提出時と比較して変わりましたか。
ア．好転した　イ．ほぼ変わらない　ウ．苦しくなった

2. 主として生計を維持している人（父、母、祖父、祖母など）の昨年１年間（1月～12月）の所得金額を記入してください。
(1) 給与所得の場合　源泉徴収票等における支払金額　〔　　〕万円
(2) 給与所得以外の場合　確定申告の控における収入・売上金額　〔　　〕万円
所得金額　〔　　〕万円

3. その他の生計を維持している人（父、母など）の昨年１年間（1月～12月）の所得金額を記入してください。
(1) 給与所得の場合　源泉徴収票等における支払金額　〔　　〕万円
(2) 給与所得以外の場合　確定申告の控における収入・売上金額　〔　　〕万円
所得金額　〔　　〕万円

4. あなたは現在家族と同居していますか。
ア．はい　　イ．いいえ

5. あなたの前年度12月から今年度11月の収入に関する金額を記入してください。
（今年度4月入学者は、今年度4月から11月の収入に関する金額を記入してください。）

(1) 家庭からの給付（両親等からの仕送り、家庭が支払った授業料・家賃含む）	〔　　〕万円
(2) 日本学生支援機構の奨学金	〔　　〕万円
(3) 日本学生支援機構以外の奨学金	〔　　〕万円
(4) アルバイト等収入	〔　　〕万円
(5) その他（貯蓄等を取崩した額や臨時収入等）	〔　　〕万円
収入合計(1+2+3+4+5)(A)	**〔　　〕万円**

※ 表裏の太線内の記入項目（記入日・学校・学部学科・学年・奨学生番号・氏名・学籍番号・本人記入欄）について、必ず全て記入したうえで捺印してください。また、学校認定欄には記入しないでください。

(201911)

本人記入

経済状況

6. あなたの前年度12月から今年度11月の支出に関する金額を記入してください。
（今年度4月入学者は、今年度4月から11月の支出に関する金額を記入してください。）

(1) 学費（授業料・施設費などの学校納付金等を含む）	〔　　〕万円
(2) 修学費（教科書、図書費、文具購入費、課外活動費、通学費等を含む）	〔　　〕万円
(3) 家賃（共益費等を含む。敷金礼金等の特別支出を除く） （家族と同居している場合は「０万円」としてください）	〔　　〕万円
(4) 食費	〔　　〕万円
(5) 通信費（携帯電話等の通信費を含む） （家族と同居していない場合は水道光熱費等を含む）	〔　　〕万円
(6) その他（医療費、娯楽・し好費等）	〔　　〕万円
(7) 機関保証制度の保証料	〔　　〕万円
支出合計(1+2+3+4+5+6+7)(B)	**〔　　〕万円**
収入合計(A)－支出合計(B)	**〔　　〕万円**

あなたの経済状況を具体的に説明してください。

学生生活の状況

この１年間の学生生活の状況などを記入してください。
例　課外における活動の参加　　ボランティア等の社会参加

学修の状況

この１年間の授業出席状況について、あてはまるものを選択してください。
ア．全部もしくはだいたい出席した　　イ．ア以外

イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。
〔 理由 〕

この１年間の学修に対する取組みの姿勢について、あてはまるものを選択してください。
ア．熱心に取組んだ　　イ．取組みが不十分だった

イを選択した人は、その理由を具体的に説明してください。
〔 理由 〕

アンケート

奨学事業実施上の参考とするため、次のアンケートにお答えください。
なお、このアンケートは、奨学金継続願の内容に影響を及ぼすものではありません。

設問１：奨学金が受けられなかった場合についてお答えください。
□（１）修学が困難（不可能）となった。
□（２）修学は可能であったが、自分が学びたい分野や学校での修学は困難となった。
□（３）修学は可能であったが、アルバイト等が不可欠で、勉学に支障が出た。

設問２：奨学金の貸与を受けたことによって、勉学に励む時間が変化したかどうかお答えください。
□（１）増加した　□（２） やや増加した　□（３） あまり変わらなかった

設問３：現在、貸与を受けている月額についてお答えください。
□（１）適切である　□（２） 少ない　□（３） 多い

設問４：設問３で（２）、（３）を選択した方は、３万円～２２万円の中から、あなたが適切だと思う貸与月額を記入(万単位)してください。なお、本設問に回答された月額の貸与が受けられるわけではありません。　〔　　〕万円

注① この継続願を所定の期限までに提出しない場合は、奨学生の資格を失います。
② 奨学金の継続を希望しない場合は、直ちに辞退の「異動願（届）」を提出してください。
③ カタカナの記号は、該当するものを○で囲んでください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は，機構の奨学金貸与業務（返還業務を含む），奨学金給付業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において，当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が，学校，金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが，その他の目的には利用されません。機関保証加入者については，機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また，行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は，適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

奨学生番号		奨学生氏名	
学籍番号			

学校認定

各認定基準（人物・経済・学業）ごとに認定してください。

奨学生の経済状況（収入と支出の差）〔　　〕万円
指導基準額（36万円以下を設定）〔　　〕万円

指導対象
□

人物	□	継続			□	停止	□	廃止
経済	□	継続					□	廃止
学業	□	継続	□	警告	□	停止	□	廃止
	当年度分の標準修得単位数〔　　〕単位 当年度分の既修得単位数〔　　〕単位 卒業予定期（西暦）　　年　　月							
認定結果	□	継続	□	警告	□	停止	□	廃止

所見

学校認定欄の記載のとおり相違ありません。

学校名

学校長

（公印省略）

（大学学部・短期大学・高等専門学校・専修学校用）